

安心して子どもを育て 住み続けられるまちづくりこそ

日本共産党 大田区議団 ニュース

日本共産党大田区議団

大田区 蒲田 5-13-14

TEL 03-5744-1477

FAX 03-3730-3447

E-mail

kugidan@jcp-ota.jp

ご意見・ご要望を
お寄せください。

空港だけがある街にするな
都心低空飛行・増便を許すな
共産党区議団、シンポジウムを開く

10月18日のシンポジウムには133人が参加しました。

岩見良太郎埼玉大学名誉教授は、新飛行経路の都心上空を降下し羽田に着くまでの詳細なシミュレーションをプレゼンテーションで紹介した後、そもそもこの増便計画は、「政府・財界あげての国家戦略会議と一体化の増便計画」であり、ものづくり中小企業の街でなく、羽田空港だけがある大田区になる」ことを示し

ました。

羽田増便を考える会の横山宜幸さんは「戦前は現在の空港跡地で父が煎餅やを営んでいたが、米軍による48時間以内の強制退去を受けた。今度の増便は心配でならない」。

藤原幸雄区議は、議会では今まで着陸には使わなかったA、C滑走路を着陸に使う新飛行経路計画についての陳情5件を自民、公明、民進党が不採択としたこと、国に撤回を求めない区の姿勢を批判。

「区民の運動と世論の力を結集して撤回を求めよう」と話しました。田村智子参院議員も参加し、「安心して子どもを育て、住み続けられるまちづくりこそ。党派を超えた大きな要求運動を」と呼び掛けました。

会場から様々な意見や感想があり、大田区議会が羽田空港の撤去決議を1972年に行ったことで、沖合移転されたことを初めて知ったという感想があり、区民の運動で変えようと確認されました。

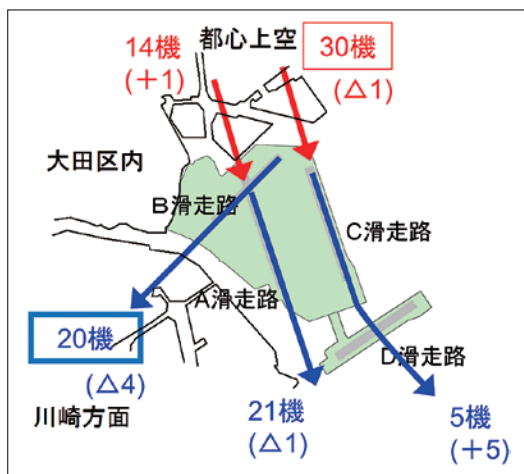
保育料値上げ撤回を

2017年9月、値上げ予定

大田区の認可保育園・児童保育の保育料が来年9月から値上げされること、第3回定例会で自民、公明などの賛成多数で可決されました。今回改定する理由は公平性や受益と負担の関係などの観点から見直したものです。特にゼロ歳児を別建てにして、受益者負担を押し付けるもので、

対象児童の65%、総額1億7000万円もの負担増を強いる内容となっています。

所得の低い世帯への値下げ措置は、区議団が要請してきたもので評価しますが、働く人たちの実質賃金が減り続ける中で、子育て世代を直撃する保育料の負担増は撤回すべきです。



南風時午後3～7時（実質3時間）1時間あたり90機の離発着。A・C滑走路へは都心・大田区島部上空を低空飛行して着陸。またB滑走路離陸を24機（当初案）から20機に減らしたことを「環境影響等に配慮」というが、現在はゼロ。更にC滑走路は離発着併用に（国交省資料を元に作成）。

住宅リフォーム助成増額など前進

住宅リフォーム助成の補正予算が、1000万円組まれました（当初予算5000万円）。区民の方々に大変喜ばれています。

また、昨年度の認可保育園入所申し込みの選考指数一覧の、区ホームページへの掲載が実現しました。今年の保活を頑張ったママ・パパからの要望です。



あらお 大介
子ども文教委員
カシノバランピック推進特別委員
Tel.3757-9881



福井 りょうじ
総務財政委員
防災安全対策特別委員
Tel.5754-3028



金子 悦子
健康福祉委員
防災安全対策特別委員
Tel.5711-0350



藤原 幸雄
地域産業委員
羽田空港対策特別委員
Tel.3742-2936



黒沼 良光
地域産業委員
カシノバランピック推進特別委員
Tel.3735-6467



佐藤 伸
子ども文教委員
防災安全対策特別委員
Tel.3298-6362



すがや 郁恵
都市整備委員
交通臨海部活性化特別委員
Tel.3768-5844



清水 菊美
健康福祉委員
羽田空港対策特別委員
Tel.3766-2630



大竹 辰治
総務財政委員
交通臨海部活性化特別委員
Tel.3735-2611

区政とへらしの
相談はお気軽に

